

足利市重要文化財(民俗文化財)指定

# 初山のペタンコ祭

参拝のしおり

無病息災・子授・安産子育て・無事成長・開運出世の

守護神



足利富士浅間神社

足利市田中町

0284-22-4472 (宮司:小堀)

# 麦わら竜の伝説

その昔、足利地方に起こった大飢饉により疫病が流行し、幼い子供たちが大勢亡くなりました。

そしてその年の夏、大雨が降り続き渡良瀬川が大洪水を起こしました。その大洪水はそれはすごい有様で、下浅間神社の裏山に濁流が打ち当たり、風雨で碎けるほどの水勢でした。今でも残っている下浅間神社の裏山の断崖はこの時に削られたものだそうです。(今の渡良瀬川は、当時山の西方を流れていた。)

とその時、突如として竜が現れ、浅間山に登ったかとおもうと、すうっと雲の中へと消え入ったのです。すると不思議なことに風雨もやみ、洪水もおさまり、やがて疫病も消えるように治ってしまったそうです。それを見た人々は突然の事に驚き、「竜は浅間様のお使いではないか」と信じるようになりました。そしてそれからは祭りも盛んにし、毎年6月1日の初山開きの祭りで農家の人々が作った麦わら製の竜を買って帰り、井戸端やお勝手、近年では水道の蛇口につり下げ、口から入る悪水除、そして疫病除のお守りとしていたそうです。





## 下浅間神社

その頃、この地方には富士山信仰があり、信徒、行者、先達さんたちが大勢いて、富士講が行われていたそうです。そういったことから、神社のご朱印を子供たちの額に押し、神の御神威によって幼い命を疫病や災難から守るためにこの祭りが始められたと言い伝えられています。今でも、神社の境内には江戸時代の石碑があり当所代官、田部井政右衛門を始め多勢の信徒や行者、先達さんたちの名前が残されています。

そして現在では、富士講が初山講となって、氏子や総代によって受け継がれ、毎年6月1日の「ペタンコ祭り」が行われています。

## 【初山ペタンコ祭りの由来】

昔から毎年6月1日は、足利富士浅間神社の山開きに合わせ、子供たちの健やかな成長を祈り参拝する初山詣りが行われています。

この祭りは今からおよそ300年くらい前から始められたといわれ、神前にて赤ちゃんの額に神社のご朱印をペタンと押すことから「ペタンコ祭り」の名で親しまれており、無病息災、無事成長を祈願する神事です。

その昔、足利地方を流れる渡良瀬川は時々洪水を起こし、氾濫していました。そのため作物が取れず飢饉となり、疫病が流行し、多くの幼い命が奪われ、人々は大変困っていました。



上浅間神社

# 胎内洞穴

此の洞穴はお胎内と呼ばれ浅間大菩薩の木花咲耶毘売命が出現された聖地とされており現在は中に文珠菩薩が祀られこの山の上には父神の大山津見命の石尊大権現宮があります。

洞穴の入口で修験者により加持祈祷が行われており、焚上の火のため天井岩が黒くこげてそのあとが残って居ります。

祈願の主は子授・安産・魔除・災難除・疫病除・害虫除・その他全般に渡り呪占等も行われていたと言い伝えられており富士信仰の中でも貴重な聖地です。

穴の中に、石の台座があり宝暦7年11月吉日（1757年）年紀がある。

現存する胎内洞穴の中で富士吉田胎内洞穴と河口湖船津胎内洞穴が有名ですが、これに次ぐ胎内洞穴であり、貴重な天然記念物です。場所は、上浅間神社参道中腹にある由緒石碑の前を左折し約35m入ると洞穴です。



# 【足利富士浅間神社】

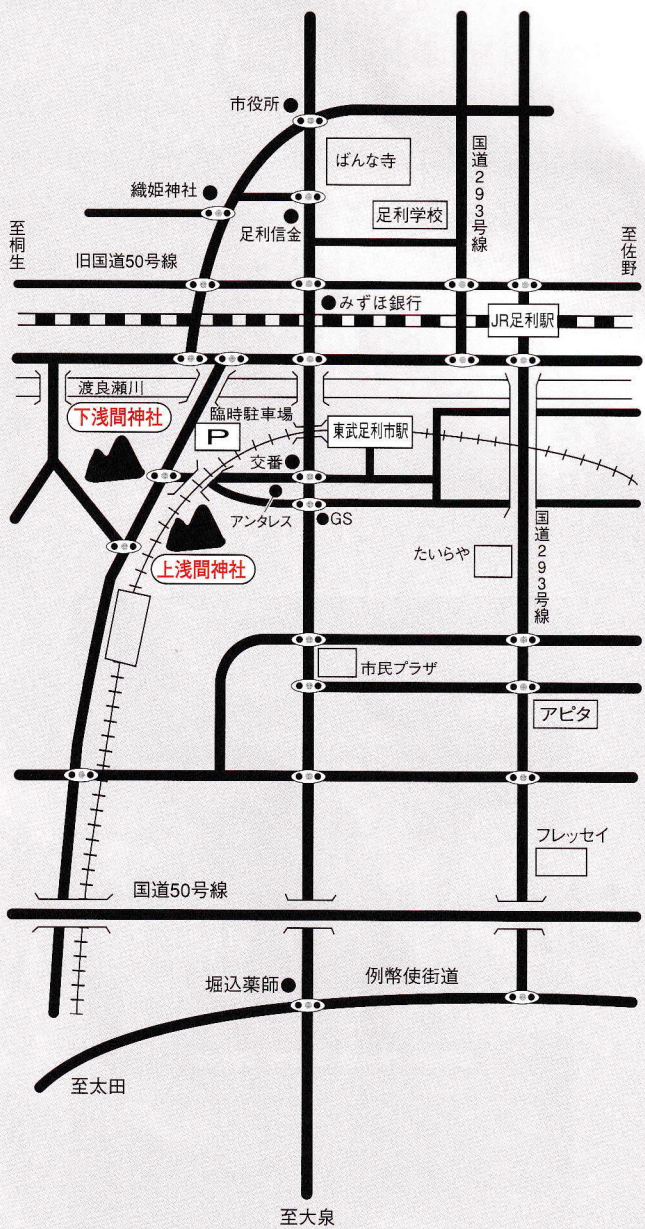
鎮	座	地	足利市田中町地内
ご	祭	神	木花咲耶毘売命 コノハナサクヤヒメノミコト
初山祭(ペタンコ祭)			毎年6月1日
時		間	午前8時～午後5時

## 由緒・沿革

当神社のご創建は、天喜2年〔1054年〕藤姓足利氏の祖、足利大夫藤原成行公が足利城築城に際し勧請されたと伝えられております。古来より足利富士として信仰され上社を男浅間下社を女浅間と称し崇拝されております。

室町時代	〔1466年頃〕富士山城の守護神として足利長尾氏により保護崇拝される。
文禄年間	〔1592年頃〕富士行者角行により富士信仰の布教が行われています。 その頃に幼児の額に朱印を授ける神事が行われたと伝えられております。
宝永2年	〔1705年〕足利藩戸田家の支配となり当時、富士山信仰が盛んになり、初山ペタンコ祭も始まる。
天保10年	〔1839年〕富士登山33度石碑
嘉永元年	〔1848年〕足利藩御代官田部井政右衛門と他大勢の信徒名の石碑
明治21年	上浅間神社御遷宮
明治35年	〔1902年〕木製の渡良瀬橋竣功
明治42年	〔1909年〕男浅間と女浅間の中間に鉄道が通り参道が分断される。
昭和10年	上浅間神社遷宮
平成7年	下浅間神社改築
平成10年	初山ペタンコ祭が足利市重要民俗文化財に指定される。
平成11年	男浅間と女浅間に鳥居を建設する。
平成19年	上浅間神社御遷宮

# 足利富士浅間神社案内図





### 上の宮御朱印(男浅間)

古来より桜の花は、日本の代表的な花で国花とされてきました。

その桜花形を日本男子の象徴とし、中に祭神である木花咲耶毘売命が印されています。

男児が疫病や災難を除け、立派に無事成長するよう神の守護を受けた証の印とされています。



### 下の宮御朱印(女浅間)

四角は神聖で汚れなく清らかなという意味を持ちます。中の富士山が大きく描かれているのは、祭神である木花咲耶毘売命が日本一美しい神様であることにあやかり、女児が疫病や災難を除け、清らかに美しく成長するよう神の守護を受けた証の印とされています。